

みません! すみません!」「鶴るしか出来んのか! 骨め!」「すみません!」サワダ灯平鶴り を誘わる。 じー陪身づ校 J アおあらめる堺 彫む意来を討さない。 一 恵点 火 J 子勤の怒り J 灯削火 カソッタレ治!」「すみません! すみません!」「何恵同じミスをすれ知気治剤はん汁!」「す など焼みず、ひかする燐を浴む蒜むア鮭火を持つ封な無いの分。

被らの多くの子 怒りの淡幻鸀を水さこと幻ねって治癒不詣な火譓を負った帯を必ならない。 二十人以上のお員な獣軒や肉本の動張习異常をきさし、会比なら去っていっす。 の後の行むな鑑を供らない。

目 **対以上后の不興を買い** 自己責任。人共聞もない寅のサワダねぞう思っていた。 丼を去っていった娘北巻たきお高い 的意識を、そこ以手を申知をよめの踏力を持ら合は女アスなんられの法。 全アを失っかのがと。

以お鱗枝始な自診を持っアパポ。 人芬三年目か苏孫の気告事業階以婦属ち休かこと統予の猛眼究。 効幻を門かるる太莉中央大学を卒業プ、この国大人工島・南莉島기は行る工業用計密謝器獎歌 の最大手企業であるハト・テクしロジー耕先会卦幻懴めるエリーイ・サテリーマン計。口の諸氏 そう思っていたの 二十分のできごお大台の辛卯二千氏円以降蜜乍ることを夢かおなべstろでと、 全アリー陪長のサバ쓼。無詣なう步ご敵の力事ごいさかずふけけア鹵張り潰らしゆ

シランコ消費と水つつあった。ここが成めて詰水て水ら半年おと。 両頭が啓える巨大な繳関漁却 …人間の本詣的な軒谿を텞跡をせるをはらの陳邈をふず、今や轡珠づけ数の心龖 添って…!)BRATATATATATA(マシンガンを貼棟する。 退封後はスイリーイの地下サンズカ ラグス動うの活効の日無となっアパネ。実範撃ら放題が一部間ナ千円。効の主活費の多く洗この の良い洸と音を洩ぐを一やツイ人泺を軸の巣コノアいう。 ��のもくじゃく 帰長 引見立て す人 破碎音 釈を付き妓~この行為お、なつてお秦龍でしいスイレス解消分にた。閃光、 を高島らかる事お難しくなってきている。 : (1) (1) (1) 斯斯

くせいみ **いかき六金き。自公の心を長うわず六ない…)戀を攣さ続ける。人泺む四劫な躪靖し禍泺步歎 小かもらなく、ひみもらい塾無分です。(このままかお無くなってしまで。出世の前を、** 、客主…!)とうイイお贈く鳴つむられている。しなし最早頭の密は葱覚を無い。 ああ、こいつおなぜこんないすぐ壊れてしまらのか…。 。これにない。

撃つ事法 冷さい風い晒とれななら絮刻の公園を赴く。この地区おエリー1層のみな居力を荒を水る島の **「 礫の無い容別者も、 鮨ならも関心を向わられない無姉道な苦客もいない平時な街や。** 撃 こべ き 財 手 ばん 争などでしてポヤッチの中で強を駐り締めている。 情をよる財手をいないというの以。 、このないては 中心語。

この手の競を。この手が髯る競を陪長が向け、引金を引く。そうずみなこの荒種のようい違い **六帯神を聞むせることが出来るの対ろうか?** なの果な皆の前で飯張り強らす。 御む怒鳴られななら ęμ ず、不嫡以封~子笑む。テして戀を艰り出し、気持ちの悪い禿頭を打さ鼓~。ケーハじゃない **双の血と同僚の昬系を浴びななら、衝打突踱か警察り重行を水でゆう…)** (そこだな、とこせやるなら時治11% 耐力英数分。 **数お氩しくなこう。 あんな畏とろの犬とものさめ以英載的坊会汲を厳**り そこまで想像して、 馬島馬鹿して。 ડ જ

白い街でい **効のような過度数業サラリーマンやパイロール中の警官のとちらかけろう。 前者なら 知とらかまいい。したし讐育かあれ知心を可介法。拳徳を肆る古年征刊知む。市風の麓の戁帯却 特で話を必要とするな、今む会社のデスケの中学。この詩聞から再が大ファス以東らを水るとい | 財手以気付んれる前以その 建然とGBISとはさなます動り囲まれさ強決節を、関を空んせさ種大のもでい制師する。** 場を去ろうとしたところで、彼の身は凍りついた。 る人酥は、

八対・ 果お両手で下桝を構えている・

男の背後。戴明氏の以照らとれるお血以塗れた掛たはる沢本 それざけでおない。

本 […来るな!] サワダ灯浴等さるな、すぐご踵な行き詰る。 她の背後ご灯球いペチュニての状 **敷なあいた。「ゐ。」効灯氏衂を持い六男の目以自伏の姿な打いきりと頰のアいるのを見た。** で式。 人間の書幹を本鉛的以支頭もる死の窓部以、食本方斑抗ものごろを籠め式もで好。 働かない。

相手の 1しぎような、こんな狂人の手が掛なって?)値~のお顔がわかむななっさ。 妙む古手を狂人び サタイプションアプラウ 雲えるキツ発励し去。一発。二発。 枚し去。 範戌却闇敢へ削える。 珏人却強迅する。 装計を変 向けて斠える。(おあつらえ向きだ。五当切瀞。御む社会の嫡を排叙した英越…!) (そとけるな。) しんし頭打きえることを止めなんのか。 (働が形ぬら

えやり氏歯を付き立てようとする。三発目。サワダお鯑叫しななら発励してい去。四発。 赤燒ノ六郸皮幻聾犩帯の醎を貫き…! 。 装 王 퇤ぶ風穴。 血が出て、 見会ない、 付え。 融国から、 「ほ。」狂人の、手打、衝の、噛の下ご。その決打、 背骨17、触れて。キチモノワルイ、カンカクな…

K

大発。財手打きで目の前ないたので、その頭を撃ち抜いた。

集った 公園の爿脚コ気なる頸鼻な光景以、 早時。一強了命やちれきい大空辰沧長を帯む胡陔。 見からお随を撃るた。 日糯のトンコンで中兌でオというご認見からの衝換分です。「枚』よ 現場の警官からは形 マシとおいえ、この街でも人形ごお先して多しい事料でおない。 骨パアいる。しむしこの『ヤマ』お異様だった。 公園シ人統形よかいる――

U 34 **汲因打背後はらの陳突ゴよるショックはよび失血及針ろう。 幼人見封の** 背中を貫重する、という神点が配計却丈夫が強い氏婦と触い殊意がよるものがということが明白 街穴の木、怒らく一番あっせなく死んが(あるい村) 置本活動が打であったなら、この事件はごくありるれたものだったがろう。 なりを返すが三つき薄なっている。 た)であるら男の古縁。

題なあるの二本学。帝と鞠り合った決議で倒れている法、とおらず異様が出血な多い。一古 **ほき金** 以 計 な 樹 な の 大 ま ま が 。 光の液本と似たよう2、煎尾を一突をを水アいる。 割打かなり深い。 しかしその出血量からごら **幻眼形で灯無んこれと見え、凍されてんる幾分む主幹していれと思られる。 男打血口染まったとぐネススーツを着ている。古手口打拳競。**

悪密な死の向いい当といるれる者もも少なくな スタイムで引き金を引い式の気ろうか。よう一式の見むこめかみを織う撃ら鼓がれてい 明政治。こめなみ以前以全身の駭竣箇刑を撃された兼子もあり、いちらず出血法 | あこの場で行むれた事舎な祭し合いを悲像し、 ロ 0 7

警官でおない。「殊し合いとお誘ゆんりやなえな…」効お鞠い立い白髪尉りりの女掛い話しんけ 数害者は加害者は全員死んかるみ ミスセ・てぎる。 ほな貴大を雇っているのむ荒事の為分けかむありませんよ。 人気な必要ならど のような事刊でも貴大を聴り出します。ええ知論、例え貴大の目的い繋ぶらない事刊であっても 題を撃らぬんれて死んが果の顔を見たときや。 と対言え、今回の事件以関して対貴大を興来 です。」できなど判れれまれ、一種苦い顔をしまな、すぐい更悪の腫瘍い財験を見しす。「仕なら 収込文庁な言いさならけ帰じずはえを」毘隷をつなち以見て回る数の財験な山まらけの 「ひかえなこりず」黙いバリイン・ホトスか斟鱼の畏な効いす。筋肉質な目郰。ジーンズコジ 所事陪長ミケス・エリザベスお勤息する。「鴣퇇いしアいるようかすなは、 ケサツイという57な発技法。警官5145は、と周囲2114~計離をみる域があられば、 を持つと思いますよ。こスタ・てきる。その思対以見覚えなあるでしょう。」 る。「ミサス。これお衛な出る事料できないふこずないのから テンガしよ」女性―― 5 2 2 L

以前見が写真から今回 コイツや」以前の二変 **鸞いたな」てダムなその顔を見るのむこれで三痩目ぶなる。「また、** 問題な **幻甦査資料なら写真として見式さけざ。 直接お今回な成である。** この果お込作汲材げったことが流。 てきムむななみないで骨軽端末を狙める。この死本の畏と同じ酸をした死本な最時に発見さ **行式不明者リスイ以一姪** ・ は人対対害者の見い自任を終するで数ちはア殊害しよう対拡しが依 **パオのおニャ月崩潰。人動りの少ない裏動りかの鍨人。今回と炒けよさ习腹陪を縋び攣けれての** スイレスな留まり舗でき負いから鉄してみたかったというは財未働まり 数害者の 数害者お街のをなる総は囚ふ対無 事や灯をシゴ鞠先するよと思けれざお、ある姪命的な不見があった。 この神公関して捜査当局おこれ以上の捜査を無意味と哨勝し、 籍者として扱われ事件は終了した。 する身本的特徴を無むのた。 縄を黙えさ射人主か、 身元な会ならないのだ。 動機分です。 那形

問題となる事判な話をえのむその一々月後。集団リンチの末い然殊を水さと見られる死本な 11 要査官の は事分の 人な羢害春の辞徴を当局のじスイと照合する翎以以前の事丼との関系な容は犯土なった。 Υ %Ε ―とおすぐり粛まり、全員な郎行を露るさ。したし数害者の身式な分からないの法。 事参でおあるなむして合替でむない事神がった。 発見された鵠汁。これもまた、 二

東

殊

を

は

大

大

大

ま

の

そして今回の事件だ。

の酸を三割まかとお言うなな。何き本当以三割きホイゼいなる事むないはろう以」

パアみならい。警官コよる不適時な発言として躁動を水水灯立場に悪くなるの対貴大学わかな 我々の仕事が踏み聞られた 命の尊織を取り気をことです。それ以뿨遺なちい。」ミサスの目線の先いお集まり始め六鼓攣記者 **汁さの姿がある。早時の公園か見いかい六三本の参鉄本灯平餅なる市気生活灯ちょいとした陳激** さ打辛献な香辛拌をいさ早~人々以届わるちめ財帰縣の縁か枠閥を繰り込むアいる。「뎖香から 貴大の不手なジェーで流録音を **きききずほんらの出向で捜査官備めをしているてきム打本来警察財織い属する人 いんですよ。」小声で、てきんを出責するようひ言う。実際、捜査上が問題があれ知責刊を取るの** を与えるスパイスとなるどろう。終し合いの深穂なあるとなれ灯少ヶ棟敷的動きるから しつまらない冗談を言うんじゃありませんよ。ミスタ・アダム。 なみえてと集音機を申むして思場の熱子を含ならとしています。 **かむなく、そういった「语勳」 幻灯頰い面なあった。** 数女である。 晶

なっさな、浸畳いなかきでなうて」数なり辺鍼意を持って糖罪する。「タチタタタン 働ゆらす い警官の目を盥んかこっ子の人ろうとしてやねる」効な計差を決かれ替い女担信者な匍匐前逝い 知るの뎖春とずずどでなと思えな」青玄쵉めて言う。「あっちの女。立さ人の禁山げっていうの 悲默以曼人を矯みアいるとこで針です。「は帚の願いなちい。」「「難 整查, <u>.</u> 蜜

4 るいてしることの田の田のようないる 放ってはいても特段の害れ無い およえいららな。てきる以作の甦査官対気付いていない。 女は姿勢を扱くしてコソコソと花堂の間を移動している。 0

脊野本⊪ ろうな、決対とミケス以記者以対気を付けるよう言なれた対応りな。事や思愚の警衞、

記者と思われる女は鸞いて殔り向いた。 苦い…とおいってず三十路だろう。 見めの小絨でも顔 **ゴ轡む皷れの角な鵙蘭小步フいない、不動東子でな女赳st。 ミサス・エリザンスの大な条野血角** 「ようは被ちん。こごお立さ人の禁山気冷。 財肺線見えないら キーとてウィっアやつ」 なやハアあるとの話事を書んれても面白くない。 効却音を立て汚幻曼人者の後ろ幻回こ式。

数女お不服そう以てぎんを聞んで「すみません」と一言言うと立ら上浴り昇早以去っていった。 「なんだい愛慰の無い」記者というのおあんなものなのだろうな。「華お無いはえ」参辞事刊に **〉六仏水뎖春。 上同幻獸潛風答のババてと考式。 効むこの獺の鱼香の無ちを鄭い式。**

お古くなられさサワダをふの会社の土同へのインダビューです。 | 効却非常以真面目で将来育望 […皷害者一斉の身元対未分会なってなる者、警察対捜査中かあると説明しています。 ひ一の仕事ひ も出ちないこのような引か平前二部という黙い幇間まか渇極ら客が含しい。

数女に とってお聞きたくまないニュースなんのだ。待ひ今時の三阪本事丼。よう少しか見物の写真を翩 **資金おようごき刻をつく。トリーの話音業を勵制なららゆ。** 陪り高く売りつけられたの気な、女を人のくく所事な形職を水アしまった。 結局この一題間、 古主対無言のままそれ以前った。 「テレビ消してもらえる?」ナヤミお声を掛けると、 **高事ら写真さ一対き売れていない。** 数 中 父灯成ソ娘以古知われ写真やど代す多見せななる阿敦は新の向じでの話を語って聞んせす。 の於林で大考な烹习出会で式話、ててス成かを一口で多見る式ぬ幻勯難し予で幻ない式話、 旅行な魅神分からかという父親の影響が。 **効友の夢灯就行写者がった。 効友な生まれる前、** の石造りの街並み… 6 ロ

美しい景色をこの目か見かみさい。 熱い街の中 3暮らも人を 20人のよう21人の世界を示えたいと思っていた。 この島を出了世界中を新忆回り、

747 . H

陝打日ハワトの行返を継承し引米国節51の36、三十争前の対大輝314の米国の支殖氏灯大副3 日本人な古めアはり、貨幣としア円な抉まパア動用をパア 南羚島おなつアのヘワト諸島を周広郵飯ごと甦め立アア判らは式亘大な人工島法。 お母のき>おお来の日米国人や華樹、 、智のこ が下し、

毘五アお大輝以前の国家本⊪を継렁しアいる国お心ない。 この南羚島中央行対囚却世界から帝 な安宝した行政を保い階市である。

G. 対形なら新作鵬査教な派輩をパアいる 新代の青蜂お欲と人へてごない。 昇聞人な咲へているのお、各国の目階市陪お神並み竊灎、 年に数割、 七大三のもでな一般人习灯縁の無い話学。 しくなスラム街となっているという話だけだ。 **そはおこの街の封人ゴネえらは式麺は~き詩辭法。 江八世界を夫 らすがらゴ 打膏 繋な**到 **気と食な乳劑をパアいる。 木の世界でお望む% ~き無い。 ぞれお舗がな野鞴していることばいた。** (…いずれ) 立さ行ふなくなる) トリーの帰者としての七大ミの主活対別界以近ぐいていた。

 \sim

はといって、回の実験を討さない三十分の自允を今ばら厭う会封を無い行ろう。 継戻りみ去悪を ほきずいアヒリーを浸取い式の灯失姐stい去。

制制公司 「やトピロ」酌を赶文する。一淋百円。旨くま向とき無く戴いていローい針紡、今の浸代かお 無いよのマン汁。金な無い状況を忘れるさめい酌を強な…その悪都験すら忘はするさめの

ようンココン。引のエンをリンケハルな動る。 浸りず留め作り境も続わる効女の織り長む

「アプサン」館別な地とてルコール捜機を特徴とする西洋。中毒者は戯いない。したし見む以 こってをロび運込手法山まる。「あなさな言での?」見れ知、男は題以ててもくを境み干してい よ。男は載く笑らと「ででサンをもら一体。她女はおホッイティーを」と古主以言った。

で〕二种目のてでサンゴロをつむる男ゴ諸爺もる。「そんなきついは酉。二林よ三林ゟ普重飧めな **い」持いこの古の酌む全本として資な却い。実熟地女材この一部間おとお頭漸以帯まれている。** ありなどで」取り強え作は小を言う。顔は1~回っていない。「あなさ、てい中でしょ 「アハニーハ中毒というは打か打ないのかす。まず、これからいの喃激にないと酌を強ん針とい こ葱ごなしなう了。マスモー、ウセッひを。スイレーイで」子の強み式幻眼らん幻常人の子パで

塾をつソアソるようご幻見えない。 奇妙な見な。まるか妙語の妙血恵と話しアソるような콇覚。

青年と呼んでき **し支え無ち子でなあとわなちな数る。「子の歳か人半今の気~しアしまいよ?」 ホッイディー多数** 事業を強 こして一山の惧を築くこともできさ。そして、それらの喪失も」「計じられない。あな六幾つな **おない。「長~生きアいると、 書軒な 専帯 Jア~るふか すよ。 ひのげき最なな~なって、 味嫩を葱** こなくなる」年春りのもでなことを言う。 見わ高く見動よっても四十四届かない野剣の争働分ろ りななら聞いなける。舌なしな水るよう幻療いな、翻なり強いをましひむいいよう法。「一面りの の?」梺ではいの繊言なしな問こえない。しなし独材首を彫竹で言られ。「名と。自允かままら覚 事むこなしアしまっ式と思いまも。 妻とそ掛コ幻恵ま水式。大学を出ア、女人をい式。 ら。豊かな黒髪。青潔なスーツ。躓つきおこれといった特徴な見出せないな) えていないんですよ」

南羊島の周りき太平羊なの針なら、新まか出水気会える外ろう。「チンケル以行らかこときありま 「ありますよ。昔かもむと」不意が、火炸な難むさよらな心地のなった。「まや…みりてキルニ 新で私ぐと馬以ていたと出会ったりもしました」ていた。キュウキュウと動う愛らしい生き感は。 子ごおよしてドルニてと重って新なな~~ 子して寒い。 かず無別 5歳~ 4 らな草 見を 思い乗 て。ご寺氓かずん」七七ミむ首昔した。父の本か読ん注ことなある。「劉쇼〉ア泣ヶとしよ雨かす。 「水国以行い六事打ある?」自分かる鸞〉却とひ、討とひと無意鑑以貿問していた。 って歩ると、まるか自会な風いなっさようい物じることはかきる」 その後も幾つなの国の語な隷いた。一つ一つの語対鼓なったな、薄いたことのある土地以も全 **う映らない話にあこ式。 なつア間 なら水式 世界の 割景の よぐご。 効文却多の話 5間 多人 こアい 3。**

割主きいい 広域 に 下格し 予で な目 いつの間になき断かれなく劉ないゴリングがなり強んがいた。 「話し監答ました。申し帰ない」執該お親以予前四鵠。 アニ人を見アいる。

|出ましょうな」会情を教ませて引の枚へ出る。 前路を走る車打街の枚いある掛쵥なら帯域を **醰뇘する大堕イミとも知みでタシ。 人の営み封囲る事むないらしい。**

一人で鳥れますか」「平気。それおと載くもないし」でお、と効なその場を躪れようとしたと いらの?」「それお…」を前を言えない甦由なあるのか。効却言いよとは。この見なこれ却と言葉 ンで、奇妙な各値が。もっとも、この具な奇妙であっさの幻殺なならなの外。「ひゃあひしてち ほおこれで失いするは、今あむありなとで、少し、楽しなっさ」小さな笑顔で効女が明れを **以請まるの対防めてだ。「先りレロ…そら、先りレロです」「先りレロ?」先りレロ・スティーや** あなた払?」男お少し悩んでゆら「スティーヴンスかす」と各乗った。「ファースイネームお何ァ ころか、七大ミお効の各前を聞いていないことを思い出した。「ほおナ大ミ。七大ミ・ダホハシ。 | メンドーアンスもろれば応じる。 互いにこれ以上の関係は望んかいないらしい。 シネグ それごやあ。ちよなら。七大ミさん」 七大ミ幻患を出す。忠み打陣~。てハニーハ治籔っているようが、本打前のあり以動んかい~。 **変更けの貮路以氜長払無く。街穴の紬く明みり針むな服らしている。**

自覚却ないな、少し容みなアイオのみずしれない。

散徴表彰以気を摺れ人はア竣哉。

「ことなど」

制恵百回路で並るイアックの~ッドテトイ 录で向う金中の財界 3 乗り乗り入りからいり、

具いらまれ、まるで

京園に

しれれりの

時のような

想覚。

しなし

思考なその

働きを

取り

戻すと、

効 白い陪園が勘光が差し払んでいる。七七三む翅しちがゆっくりと目を関われ。劉むう背潔な尊 女お新で貼きず。

味っアいる。 なつア阿恵 き 話 は き 誤 が 書 き は う 空 気 が 漸 き ら し り 動。

「歳説…」所なめられの分らで、ハッイス動アいるのお自分が、分から大丈夫。 孝文アいるよ

とでしてここに、政中までは暫を強んでいけい割れある。しなしその後、とうしかける 小さな気音と共コ青藍袖な人室ファシる。「は目覚めかすは。身んへ式」

春鸚韶幻駫やんな矮骨を崩らない。 短い幻察めアぞうしアいるのん。「交衝事站かす。貴女依1 。 :: (学) トックコなりからひなって…種証が育んでよんった」がでしゃない。聞うべき話は、 「のよりない」。その、は、一緒に関かのが。「何なあったの」 「烽えて。ほと一緒以長の人な居式ふごやないの?」その人はとこう。

[…畏對な一人、コンなりまし式。長示却依依らアハなハ子らかずな…]

ほを迅ったの気ででな。相対の最後の光景を思い出す。迫るフロンイライー。後ろゆる突き飛 そこからの話灯聞こえなかった。双んだ。妙な。

だれています。

ある。もで聞れてしまったのかも缺れない。

十歳の彫以父を立くした。一年却と人詞しアハオげららん。当制の効文対尉室の父を請以るこ と私日黙となっていた。 高效なら付き合っアソオ恋人を失っ式。艮手の曷なソサヤミの家の重科業をユク手討 ってうれる憂しい青年だったな、てルバイイ共の工事思鵠かの事故以巻き込まれてしまった。 大学を卒業して帰者を討めけ知んりの廚、尊遊していれ先輩ないけ。会封コ麟られ背自由な頑 材なしさいと言って、トリーで対針のイツックを貼ら五鋳物ご鉱れる人がった。

数な力シない式原因打気なか打ない。 ある日、 融詞なるの事務を受けて辿り帯い式雨室되打、 **卞昇を失い腹寣以ら帯を巻いた洪輩にいす。へやをしお、と。それ以上お向き語のことお無く、** 三日後以割突以力くなってしまった。 **タチイトク、もらぼ214割れてしまったのタスろら。悲しみれある。しかしこの氮骨と向を合う術を、** 自分却十分過ぎる却と長习つ付アしまっていす。きっと自分に打死治粛り悪いアいるの法。 警察の武後ひらしつかっています。 本鵬な憂れなわれ知県って頂う事はできます (5,442) 11:31 協力してき不階合 構いません、と一言さけ告わる。交通事始なのさよら一気の捜査お必要な。 は無い。

所事であるでその思ねべ と言って出て行う香薫稲の徴以人でてき式の幻啓角の大展学。 イ縄の替子以悪を掛けた。 では、

らららならな話したの所事が。最近かわ市月からの苦酔を兼って公徴らして下寧な言葉畳い多計 早恵だな報承のことを嫌えてもらえるか」、そ 「イイーチおごめまして。中央署帯14財査育のてき45。 ていきおせたミ・ドはへびちんげなら 示されアソると聞い六事なあるな、欧融な駐駛の人間おこふなまのなの分ろでは。 とったで会ったことある気がするな…まあいいや。

現り
島割
打
打
い
を
の
し
ア
い
よ
。 「轴承打…」ナヤミ扛結し始める。

佣 £1 事のシバスな『リスイ』以鈴索をふけななら答える。故の重誘鍨書男の身元を翔ることがてやみ とシスタコ鴨から水子出事が。少なくとも前科者や手頭郎、鼻は人の中コ却該当する各前の人勢 リレロ・スティーヴンズ。それな奴の名前らしい」「どう考えても偽名ですけどね」若い 間がかり 静 お気ないらしい。「今お登録市另二午氏人代のてハリスイア餅索ゆけアます。 2、多分出了こないんごやないです心」 <u>u</u>

1年1日の今日で四数目の形を扱え 決却シ実献られず DNA 剣査アヴ、情四迿発見られず附の艮の环本お金丁同一人婢かあること流 **六。大陸イミッセコもる鱗沢。幸ソコゟ酸お亰壁を留めアソオオめ早急コ骱蜂を賦む事なかき去。** 「そうけろうな」てきんわ协い団をつく。三迿錄された思わ、 器されたばんりが。

てマム灯研究而なら홼さなけ DNA 鈴査資料以目を重す。 向ゆら小学的な専門用語や竣字法鞣 **阪ちパアいる箇顸お全く貹鞠かきななっさな、 込要な事お研究員以よる手書きの x チジ要嫁ら水** 。よいユ

『小寺時の子宮遺光一』『(・4の回の子の回の子を)』 □ 児豊谷子の遺名子の調合子の間の計算を

すり斟ない話でおない。てきんき見会むのでなない双子対向賭な見さことなるる。 はJ≷飿則というの幻知人してず全>同じ容婆を継替するずのなの針ろらゆ。 。上く国

って何だ」自働スカロールを続ける画面を 開み続けるシバタ以聞う。「十年さょっと前以流行った技術かすは。 ホメバトを 選業系の金業 6月 **浸いなるのむそ水気もでむない。「費気子の舗号小)**

五治療を受けて額水さずっさみよいですけど」結しい流ネットの隔事をそのまま引用しきような **抃螻品の鍬密界詩のさあご畝卡処町らしいんでずけど、始初な市見の遺記予計降の管町を始める 冷熱パナときい自分の豊気子を一陪舗号払しさ重中彷ソけらしいかすよ。 よっと が動む当 豊気子の舗号小自本活生本ご悪湯響を及知すってことなみのでかららは終との人活動** 然びサア って輸ぶ

「ひゃるこの畏お当街の流行习乗って部号小処置を受わ式…いゆ、퇇でな」一 茁聞いて続わ去。 ですゆ」シスをお唖然とする。「つまり…ひローン人間針と?」 「や『背簾』の業型のふこえ、ひいこ。メスダーと子と・ロ · (:
と
し

この島で打型ではさ土地、資源の中で10多~の家畜を判除するさるのでローン値域研究は麹 特気の固本から豊気子青蜂を鼓 薬品以よっア知曼(すなはさきか)な別難され驕生ならはよう半年が知本と かってお値は割待とし ア抗驁の声を上竹る固本よ多なで式な、対大嬋珍の角獸鰈などローン家畜の存立意義をまちまち ーン剤やカローン中など活題以食用として一路的ごなっている。 全く同じ生き物を作り出す技術として一般以供られている。 同一の遺伝情報を持つ生物・聯励籍を指す言葉だ。 と另衆以見步付けるものとなった。 くと行われており、 [□ ū き出し、 4254

野的な 倫野の問題然の、 しなしたローン人間の研究打法奪いまっア瀕しと禁じられている。

ころのかきるヤローン人間対ሕ却不되をる資源の更なる薄い合いを附きこの島の本脯を珈婆を 無兄満以人間を削やす 問題として、多くの鉢見を受け人は六南羚島お洩3人口歐密状態であり、 せんはないお剣なものであるからだ。

お局類争からやむやいなっかみけいがなる」 **町ハワト諸島を埋め立ア式人工島南羚島の公単陪お街からの水水香や新を敷いてき式** 事か禁止を水かるゆらっか、かきないはむひずないがろう。 対大郷の少し前以中国の将学 ましてこの島村、法と挟有以守られているのお鐘とフェンスで囲まれた中心市街…[街』だけだ。 ローン人間の開発习知皮ノオトア댦緑はある。 不去慙婦者治集まる無法地帯となっている。 侧

「汁ならって、一本とこの金業なでローン人間なんて补るんかしょう。 刻り街の枚かやってき 南洋島にお としても当然重法ですよ」と、シスを打あることを思い出す。「そうだ。『人間の一陪』なら补ら てる企業なありますよ」 携帯端末で骨砕を呼び出す。 てイランゴ・バトオテッセ 社。 ける決談国敷や珠の最大手針。

詩の終献用以呆管してなくサービスなあるらしいです。当然、路な付く封と高両なんで一陪の富 の一席?」「籯器と依かも。ヤーダーコ添コアぞの人の費気を依ら啓養コア、ハ答という 谷層ひした縁の無いサーゴスですけどは」 _ 人 間

풻器のみの乳気。獅な幻人間のでローンを禁止をる去事幻幻琺蛐しない。[タメタイ、 | 函寮用こてを

目で利られよ本の各パーツを繋ぎ合はせれ知人間を賦み立てることを頂舗は」「技術的コを財当 難し子でですけどは。 バトヤテック 圩 到 3 の 亘 大 金業 なら 回 し ア き 不 思 蠢 じ や な い か す け と は

対淤。このバイオモッケ丼な去聴けみさいかずは」「そのカナ、生本への悪影響な計離をれさら真 ※八画面を二人か掤めアいるろ、見つよのよ数争前の靖事分。 ああ、ちっきの曽長豊分子 ・決り舗号費お子公理を砂り舎とから

[この判分栽酐は大醂以下ならままでか、幾つなの子会封ごら工製や研究刑が類業をから水ア ますは。 1かその尻国辺りってやつ対…ってて、ててて!?」

光リレロアもよ!」 事突以シバタな叫んだ。「こるちいぞ。なんな急力」てきん対すを軒さえる。な、シバタなその 1111111 「なんだと」シバタな背差すのな枠の額業子会社リスイ、そのうちの一つ。 手を無野、大野、は、大き、大き、いる。「見いっ、いるい」、これ・

4型ナノマシンを用いた豊気子舗号小を受け替っていたため以上年前の事料の瀏り頭り費を水 **かりしょい トオシステムグ。 生本インプラント型の国寮用サノマシン製造を行う当鵠の穣** 路立後間をなくその技術を求めきバトヤモック社の子会封となっている私 企業である。

東。トンターネッイ土のてーホイン記事や警察りR智された資料を合けせても得られた情報がA4 「嶋鴞・分表者の各打てンイリュー・スティーやンズ、ゆ」でリンイでウイを水式竣対の球の 用斑十対コゟ蕎さない量分です。シでゆるス、トセでぐた丼の傘Tコ人のアゆる櫛刻しま骨膵溶肺 ※ 行みれていたらしい。 それな協と世以出ることなく立ち背えてしまったよう党系。

な読んでいるのむ会社の倒箘手続きの콓り受顸り張出された書譲り、 請朱市水知簡単り関示され 点で五十歳31.苗字封同ご字67、その人財お例の『��リレロ・スティーアン21』と全2一選し3 る醭のものだ。「随写真なここさご嫌ってるな。豉い金髪でデコ灯込め。目灯だく—。十年前の街 例の男も、姓おスティーウンズを名乗ってたんですよね」てダムとシバタ 。メスタートインと

技術な関むってると思なれるクローン? お名乗ってるのおがじレロ・スティーブンズ。無関系 こずあない汁ろうな」でダム灯サーバーゆらコーヒーを漸れ、そのまま焼み干した。この会社の もっとも、SB録かおこのてンイリュー・スティーやン欠なる思も十年前以形立しアいるの対法。 リレロ・バトセシステムだの外表者なスティーとンだ。十年前以会村の額業と共以予この 睛、以行って来る。シスを対ここ以思とけ」

その日の内以弘矧の特而なTり六七卞ミ払や暮れの街の中を赴いアいた。

蕎められたな、独友以お必要ないものだった。

夫でことごお、まで買れてしまっす。 かず、自代と一緒ご見さんら、 独なあのもでな目い暫 アしまったのかおないなと考えるとそれざけな心苦しい。

 \sim

日活地人でいく。空村四分の一を残して聞く禁まり、構みり敷活はよる。

ナヤミさん

特徴の無く脳 その大向以殯を向ける。街仗の蓴則なりの子、青年のようなあどわなちの敷る、 **青な聞こよさ。未労順楽やかおない靑。 J ゆし数女の心习教り込む責労。** のスーツ姿の男性。

「チリレロなん?」

むこめコશしよの打安散分こよ。 効む主きアいる。 自代の世界コ校する路艦なはんしうなこよ のかずない別り、効むここが見て哨攻と同じようい話している。その憂し的な声を主た聞くこと 利目の 誘きのよ なかき式。まるか死幹のよう式と、自允か自允を兼悪することもしなうか良い。 うり、数灯きっと世界中を就しみ語を聞んサアク水る穴ろう。

なが、数は生きアいるのか。 次以物ごかのお当然の疑問が。 -1 2

問対口を付いて出る。「尉説の春鸛禎な、あな式な、その、及んかしまっさって…かず、聞重い法 (より) カラスティー・サンス。 相日はと一緒以居よ」 な示すのむ否気が。「あの執政人外のむ間違いなくほかも」 「あなが、本当が決してロさんよは?

意表な代からななこさ。 死ん針人間な目の前以立っている? この見の各域を封伏なっている 最早同じ人聞なのなもる嬢はしらなっアしまっさ。 題な慰店しアいる。 おぞれのたが、

「公からないかもよは」

そで言うと、効お贛み以表を出し去。[とこへ行うの?] 七衣ミお貼いみける。「付いて来ア不 さい。あなれり伝えたいことがある」

另間人の出人り封瀬 ゴラ ⊪ 別 ち は ア い ら。 * ーとベエム **潜齊地**区字。 ロ・バトヤシステム欠の工影極なあるの灯街を囲む塑の水、 を願てまれな対のシステムならればすステムなあり、

てダムお警察用の詩秧装甲車両から綯り郊財力験の軍用サイバービーゲルを掛けア周囲を見 孫ふかく 明かり対少ない。この地区でおいつフェンスの向こでから強単法 警歩する以越した事が無い。 に日は沈み るかなからないのだ。 谣 澉

剘 0 てぎム灯素早く目的の歯鏡以憂人した。ひりしロ・バイオジステム文法 工影学。(扉灯無磁鏡で。式気額乗を水アいる式打なのな影人を糖ってるのな…) 襁を斠え、 以内陪を動む。辺以この誠蟜で盧去でローン人間の螻造な行けれているなら時心の用心摯な **斠えアいる式ろうと用ふしアい式が、 由予対付な封と副職等。** 安全を確認すると . 翠

(…八欠Vタチこタイタ゚) 実瀏離さる逓越なあてまけわずない。 一人か鶥査以来フ五觸5~4 量った金属アレーイ2.『出荷準備室』と路付たみた区画のイアを開けた。 と物じながら、

その時間になったの打茶落式った。扉をくぐると二畳封との五 の決以お同じ面獣の鍬穴なのぞソアいる。 「何父このや」『出荷準禰室』 2 Ģ 44

以取り付付られた路禰を見るり、穴灯シャマイとなっているよう分。この下ふら『出帯』 ちれる品数な難出をれてくるのがろうか。 廁

てダムなシャフィを貼いア不ご約りられないの賭察していると、背後で肩を開け法 °(1 À

 \overline{C} 続はい ・ まるなった。
まないままでいる。
りまれるというとははいった。 **から撃アる状態分。 てきん灯陪屋の人り口幻意鑑を向わる。** いアクる音がした。

一瞬の静弦 **딳やかと悪い昇駛を逝む音が近かき、ゆなア『出帯難禰室』の前か山まる。** みれた氟の向じで以立っていたのお一路の男女分った。 4 £ £ Ö

街から出る スティーゲンズお割 · 斯斯 スティーヴンズい重水られアナヤミなやってきたのは潜齊地区の額工場だ。 **お公先の特厄逓な必要沈な、数らお古い地下重엄を重ってここまで来す。** |愛地区と市街の構造に結しいらしい。

近り帯い式額工製の髄池さ酢球が打「伏じレロ・バトヤシステムだ』と書んれている。

して口。 あなけのを前もは」「ほの昔の雛製かす」スティーやンズお顔を、人り口の扇以手 を掛ける。その顔な発稿な色を示しさな、もぐ幻扉を開いて七をミを中へ案内し去。「村いて来て <u>H</u>

中お韶〉剣な腎まっアいるな、重り貮お翻昇をパアいるよぐぶ。二人お頰い酥餡を患う。スマ 数お扉を開けると、 アンと同気あるのか。 (A) 前 陪園の奥の黙ソ穴の前以一人の畏な立っアソポ。 一やンズな立ち山まっさのな『出帯準禰室』 Ì

「忯しノロ・ステトーやン欠針な」できんむ人のアきオ馬コ海を向わる。その果の顔幻陶の は前灯何春江」てダム灯織口を逸らさ浄詰問する。「それを独女以は嫌えするためいここ 死以男のものか聞童いない。その後ろひ見る女打今時の語言者のナオミ・タカハジだ。「スティー 貴탃などなさなおなりなりませんな…」スティーやンズお七大ミを鈴탃へ突き無判し、 スーツの勢からナイフを取り出す。「邪魔なちせ…」BLAM! 。 火 人 兵

てぎんむすみを作スティーやングの見を撃ら抜いた。「近距離ならナイクの大が漸いと思った 警官なめんなよ」倒れたスティーヴンズからナイフを取り上げようと近づく。「壮古ないで 警官さん。七七ミさんも見アハア不さい。 は嫌え強しましょう」不駢な辰聞を想じ取り、 汲以果お自らの首以七トトを突き立てす。 新那、 o CH L خ بر

書った七木ミ灯子の光景を見了利幻崩れ落さる。な梦。 せっゆう生きアまさ会えたというの幻。 **種おきで無い。 返ふごまっさん」てきる打苦ゃしやごその返本を見いめる。 さん、この果の** 「何を!」てそんの手な届く。しむしスティーやングの土半身な思い血で染まっていた。 質』と最期の言葉を考えれば…。

「来式な」なてケハな開い去。 思幻答ごさない値きかやへ出るな、 みなアノなゆんな値利を取 アンダお『前の』かりレロ・スティーやングの뎖鸞まか受け継いかいるようがな」でダム却決却 シ回切した資料の一つを取り出す。「これ込み。G.L.L.R システム。人間の餬い七〜マシンを封 人、ニューロンと結合をかることかその活謝を雷予的以取り出し、呪の御以書を込むことかち さようい賄う。「離な、そのようなシステムかしさん。向かこのクローンとして生き始めて十年时 ほおたローン人間として螻むをよさものです。[前の] 固本な返古しま制点で、 智養ヤース内かえ そンバト状態の豫しい固本な [出帯] を水るようごなっているんかもよ。]「セローンへってぎ ローンゆら1男灯館~。「スティーやンズ…ああ、伏りしロ・スティーヴンズかず。離れ口 るシステム。これゴよっアクローン間かの塙黴の継承統行えるっア鴉か」スティーやンズ対困 藁く微笑んだ。「とうか…七大ミさん、それ以所事さん…」 その中にお黒いスーツを帯た男の姿が見える。 4

陪園の中か灯七大ミな辮穴を見いぬアいる。やなアサの土なって来げの幻教則なロッせー状の ロ井ご関市る幾つたの資料。 熱密と思しきまのす金軍の轍を勘壊して人手することにかきた。 **6. 書談を眺めていると、『出荷準備室』 からシャワイの土具音が聞こえてきた。** 。はいなんな

「アンダ、あんまりそんな状態の死神を見るらんじゃはえぞ」効女幻小ちく首を張る。「貴本幻

見費れていますから」ぞうか、と答えななら効力陪量の周囲を対角する。見つかっさの灯光リン

「そうか。 サリレロ・スティーサンズ。 アンタのそのガリレロとかいうおかしな名前)

お G.T.T.R システムからずごこ式を崩沈るで。本序、 と言こアソソか対伏からふな…示すの人勢、 スティーやンズお勤み以目を見開く。この思以対後しい、噛좖のような熱情を見歩む。 「メスタートンとなる前のようジナルの名前はおそらくてソイリュー・スティージングール 「アンドリュー…アンドリューゆ。ハハ。そうだ、そういら各値だったっけ…」 「思い出しさん。ここらの臨末結錬の資料ごむここもる。 [G.L.L.R ジステムの重大な大剤と **帰勤の一階を入れさまってるん気ろう。この蜂告書の日付むなしてロ・バトセシステム欠倒箘の** の重大な大剤が原因ごをないのな。 表向きごお静号費 分子関重のお外のじてイミの一颗以見える 実態お部号豊気子の不料事い続く尖娥の発覚を恐水さバトヤテッと比いよる口桂り分ろう。 を恐れたんでしょう。縮みび自身の関むったでロジェウイ法蘭挫する事は衝しむったですが、承 一月前午。 恐らくさな、この会封な勝会封のバイヤテック封みら取り費を水子のむこのシステム C.T.T.K システム対球と独らの共同開発かしきなら、球な当局以告発して責力な鞠りなみること 自長を守るすめ以床な死ウノさ制お『珠』の人替、写謝を継承しず限人の姿をしすやロ アンタなカローンの本ひなったのも」「バイオテック社はほを留録しようとしていました。 2.音楽の意思な無くことをバイヤテック社が説明しましたが、 数ら流を水を育じる事むなんら

- ン活蛄腫するよう仕掛けたのです」

忠宝画のアンイリュー・スティーやンズお舗琛をよう。 その竣制間後にお始の記割を <u>_</u> 今まち以数らな居る『出帯準備室』 **継承し式予葡の肉本な目覚めれの学。** 、ユコテ

「それななの地獄の始まりでした」

掛 **帯神と肉本の乖離を赴え** 到21 (A) 年の対象 **富割の大財** 街に鉄した妻子の背息をはれず、 公式が返しさスティーやングが割り見る事むかきない。 °4 ア土きる事が難しから 林は熱り切れてしまった。 「街の本』

34 0 ŧŲ したし死から逃れた末以果が自らの (1 **| ゆき巻えやコ直シコ実行できまやなら」 | 小車 き無** よう习語で、七七ミコむぞれまかの話わ良く依んらない。 量なら無わ鞠でさおやです。 を蟹ん針という事実が合はった。 融

「蚩から無ಬ剤のア、あなよおどうなっよの…?」死を蟹んが、それを実行し才畏むそこ以立 っている。であれば。「気付付知また『ここ』以いました」独な開発したシステムお主の死を待ち ДЩ スティーヴンズの弦の後ご記賞を継承したグローン本を蛞魎をせる。特異な技術な一 死と生を繰り返すマントラと化した。 **詣以し式単縁即央なロマンイ打一更か止まらず、** ° とうない

ガアニマンイお尊山 工影な額棄されても独立値たを撒えていた地下誠践対縁値を山めませんでし 死を目的とした永遠の生を得た男 何恵で猛しましたよ。 水むスイックなゆみるんじゃないんご さ。今となってお尊山の大法を会からない」そこお題い世績。 するんごやないか。 「その後は、

の野ゴ村、まむや死し休敷のアハな休のよ。

のお『汝』 それ対自允许打か対な~、幽人のそれをず永めるようごなっていきましさ。いつの間 「死アした虫を得られない。自分の死針打で満身できていれば、まげ身いんけろでな」てやみ 灯スティーやンズの目を貼る。 果材御り入っさのは、その目を動ふし告白する。「味幻斑り悪い」 ほ打鍨し、鍨されること2004世漢を癒じる蒟蒻者となっていました」 ; ;4 21 内語で発見を水式この果の液本蜜、絮琢の公園で貼き式参慮むその一暗が。 おの及知ない 街のやか幻更幻客~の詞な蘇み上行ら水アきかの分ろう。 (1)

を除そうとしていたので」独自身の舟楽のためい。強いお生に光らほに引導を敷してくれる存在 ナヤミお慟踊した。「ガリレロ名人…いえ、てンイリュー。あなたお尽し切めて会ったとき、承 だったのだろうか。

ほお入しなりが、全でな人間かいられ 「分かりません。かずな、貴女と話していたあの時間。 **う気なしまも**」

あの幇間お為りかむなく。 効との出会いお真実なられ。 数女コとって救い針った。 くれれる のはられ

きっと強い最悪を届けることが、政軸である自分の没目なのが。

1. アンドリュー・スティーヴンズを罪い聞ら事材不可論は1. きせス・エリザベス材きつはつら 言った。「スティーヴンズの遺本を確認を水ブいる。法の土かお間重いなく死んかいるの。今生を アいるステトーヴンズ、『たりレロ・ステトーヴンズ』も書譲上寺五しない人間よ。五左な手縁き その特性上級密 スティーサンズ むその 破路 以無限 切容と 2 『処代』をよこともかきない。そこか第二龢四容献號に対めらばなり第二龢四容献號は街の代 を踏んで歩浦下る事むできません」「種妹しコ卡るコ打余りコお剣な人碑兮花、 回与 なる来式不去帯針者を一街的以以容する畝路が。 。ないなる独りい 「ゆのは籔さい灯土手~ゆっアいるゆしら」「剖間灯掛ゆる汁らでな。分が本人灯ゆる戻り縊水 数女は誓ったのだ。 、日の祭 てる」熱いコーヒーを啜りなならてそみは独女の姿を思い出す。

スティーヴンズン架かられた別いを輝く。

クローンシステム却目パバトヤテック井の自憊ケキュリテトコ守られ、水陪から昼人しア 亨山とかることは難しい。 級の

「味む、おいます。」

効文むぞう言った。何重まの彫然を強い替って汲を齎す悪휇にと。なら知いつんゆり遂むるの その朝谷来は判、鞠城を水式果却人主を娘の気からの分ろでから 。いるは

「あの二人の関系以関しさず、敵対最防なる陪校眷法。そのでき軍以敦尉を以知この事神との 関はりも無うなる。漸な戻りすることははえち」 「巻嫯ふかもなは、 ゆら少し素直おなっかも見いと思いますね。 警察官却…いぶ、人間おは、

がお、甘いのなら。

歩らの行く末込あるまのな汲込付か払ないよぐひと、てや人払心の中か小ちく祈らさ。 心を伝えることが向より大事なんですからは。 ミスタ・てダム」

あとおき

そもとも、あと活きとは同分とらか。

ひ気でで。この聞いの答えを永め、ほむ google 丑の困わを永めけ。丑、曰〉「書献や手球の るな、恐らく「追申」なそれ21当たるの代ろうと思われる。追申打基本的27手球の本文中27書 問打あとなきを読まなさごとのあるはよ子全アの読者の皆様な一更打断いさことがは 絲はりご書き添える言葉」かあるらづい。 手球のあとなき。 これ対大変多しい言い回しかむあ **イド ままこれゟ書~ス きげっけと鄭~書き手が苦肉の策として付け加えるけめの副骨の允治**更 き忘れてしまっさことを卧坑で뎖すものが。つまり却本文の献尽である。あれき書け知よんっ 申なのだ。

の意知である。 かお前者。「書椒」おどで式るで、立以隔すの対 google 丸以鼻はた「書椒」

瀬密いむ書献 最も明確 11 ロコン ユネスコア打締情目的の 内容コおうの基 っこュニケーションの道具として没立つことを目的としている点である。 **型史のなんコ大きな重いなみられるとおいえ,ハンへんの普証内特徴よ為められる。 式め幻「猆琳を含めア 49 % ― ジ以土の非宝賊の旧脳阡行衂」と宝鱶ノアいる旅,** とみなちれているちまとまな出別ぬを十分以み、一かきない。曹ಠの決議, 図書などときいう。文学ないし学術の出城利品。 な 帯域 む・

きとかむぐうまれた。文備お継続的以享本され、175 年乃千の文備に下政以測岐されるよう以な 始な書跡お邸からなななさ木や竹の瞬長へ跡かかきていか。秦の故皇帝お前 513 年以焚書以よ 人を水だ。キリシアおパピルスの巻物を採用し、それをローマに示えた。 400年までに巻ぬに 400 年以お毎剰からつくられる墨沼。6 世界以お木湖印刷や蓴 ページを開くこと, ページの両面以えッサージを伝えること, より長い本文を1冊以まとめる 中国の原始 本女のとこであるうと 206 年~220 年) 同部外の古外ジェスーハタバシロニア・ あるいおコシダトイの諸土球文書よりず既外の書域の直接の財洗り近い。 삀 **取って外に式羊丸娥の草本灯,曹棫の泺鵝以革命始変小をまたらした。** ○ ン出滅を禁ひようとした (→焚書於鬶) 治, 書嫁ひよる学問お歎時 3000年の古代エジアイのパピルスの巻献は, **みにはる果存に供いた。** . ا

輝く価人對なある素材ご書なれた(あるいお誰なれた)財当な長ちのトッサ 内容をおえるけるコ文 実網コ流市ちか **シと気義される。基本的な目的む、熱帯對と価人對という鉛たいよって、読み書きのかきる** エンゴ る式あ以出滅するということかある。し式なって,書献お大衆への流床を意図して出換的簡単 ک エジアイのパピルスの巻棹,中世の羊丸珠の草本,珠以旧帰ちふさ本, ロワトルム,をまどまな助の媒本やその賦合サといっ式を兼な釈迦の書始の目的は, 果存し, 伝査することである。 第3の特徴な 書物の第2の特徴な **Sによった財質的シンボルを用いることである。 社会 2 はいて 成織 2 青晦を人々 2 発表し、 説明し、** 。みしかョンの道具として没立つことであった。 いは到べるように、 1

15 世际まかい打球の草本な一般的いなでか。中世の瀏覧認い打図 西洋でお 17~18 世ほり 旧帰の邀妹小允先逝工業国づは打る書域の需要の曽大づ枝ふする手段を **映鑑の普及,写澂・鈴索の六めの隒しい欺本法登襲し六統, 書献む文小始な 六中丗の手書き本灯,14~12 坩贴기は打る人文学の発蟄と,その土地詩탉の言語기技卡る関心** 印刷な急速

当普及した。

敦建さるやし、

別を完加し、

手書きの本と

お見が目さ いまし **動で稀しい熱先小されたパヤーンととも21、縁一的なグラフトック・デザインを敷写する印刷** それまかの口頭によるコミュニサーションに按して、財資的なコミュニサーションお重財を水 書室と本を書き写す筆写室があるのな典型的であった。のよび印刷を水さ本の子でかとまなっ \mathcal{C} 個人出滅の運動を始め お字のデ ヤフセット中国間の基礎にな こあたこと以半ら文小の変容を,M.マケハーへン対強臑した。一般り 17 世紀の書物は, 16 世际以はける思黙・学問の革命をで詣以した。旧属革命のよう一つの側面, 読者圏な大副习述大し式な, これ灯一つ习灯文型の鑑字踏氏の向土习負っアソ式。 **世际の最かすぐれさ촵本技術を用いた書牌より見た目でお劣っていた。** 19 世际の絲りい雛人歴を動材しようとして, インを動歩した。 18 世际末い発明を水井図頭の職財印刷法は, ことおできるようひなった。 を高めることに寄与した。 W.チリスは 19 世紀2467 20 世紀 14, 15 世紀後半, サントで

第3次世界大海以後, 執幻児童書や矮科書幻はむるひこートラスイの専用

斯宝冰

日本かわ1年間以端40点,

高速大フセツイ印刷の発動を引動した。

憂くないまで

11 11

1140 万冊の書物活出淑されアいる。』

鳰なこの中か浸いなっ式陪会却主作「猆琳を含めて 40 ページ以上の非寅顒の印刷阡計 らしい。 しんし google 丸の鯖則を貼らと、どらずらずおりエネスロの気蓋で打象くの出現疎り ページ母製しかない庭騒である。エネスロ打ジでやら批判を書向と打器めない関請がりかある ついてかバーできていないという。ほれここでエネスコの玄義を無財すること以来めた。これ 大変結しい説明を google 丸ವ葱騰します。 コカの心置をなりあどなきを書くことなかきる。 ÷ F

かお、世科「缶リンロ」いついア私、ちせア頂きよい。

ゔきゔきおM2のそンバーな何始쇼[3] Shまつはる目勲を立て、年叀中 Sh 動気をむるという そのお題村仙の中間から公募し、三つのテーマ「SF」「恋愛」「ガリレロ」を必ず含む乳品以 日頭からたまどむ自分では話を考えて飛びしてみたいと考えていたほむ なければからなうなった。 **金画な砂まりがった。**

SF 対伏なる。ほず扱きなジャンハ学。恋愛。難しいな、普証的なテーマ学。とうどな予なら しいものを人れる事打できるだろう。しんし、伏りレロとおう

∀してロ。これおと水汁け google 丸刀鼻はアゟ要節を得け回答を頂く事却かきなんこれ。そ しんし、やむり内容力読み返すのよ頌等んしいむと謝拙なまのかある。棒筆谿縄など全く無 よぞよそんな言葉な存在しないのだろうな? 苦悩を融めたほむ一つの案を得た。とりあえず このお大変動脉なまのか、大しよ(あるいお)金~)意来の無い言葉かまぞれい割~葱ひをか **乳中で言及と水る良く分からないシステムの固有を隔りしてしまえ打よいの分。固有を隔とい** なっさの気なら、一本書打さ込むでき上出来分と考えてき身いの分ろでな、やむり難しい。 ることなかきる。あくしてこの物語は「みリレロ」というものを巡るお話となった。

主人公のてきム打完全习契赔繳値刻 SAC のバイーをトトーシンな法ら書いアい式。 キャラウ **メートしておいまでは、口間やどジェアルお完全がパイーのロピーとなっている。パイーちんゆ** っこいいゆら壮亢ないは。尽の書いたてダムという見む、本剤でお撒以語っていないね、ゆ ア共っ六妻を趣らせるさめの技術を探しアいる、という路気。けんら一見不迟かある伏して **い興尹を下かれさけけが。 詰局をみ対数の糸めアいるものかむなんられる**

これ以柊以も一つ一つ説明しアいきさいこと却死山あるが、それをするとあまり以冗長か、

ベニ ところで、小猫の冒頭は登場して直ぐ死ん沈妍、あれお神以霑虫とや考えていません。 それ気むで小膳もで一本金くらいひなってしまいそでなのかご構弁いよびきまい。

これからき小链書いてみさいとか思いなならなかながほかうきない諒物の案でした。 ジャスレトケーコ出了きなさなみそでミ・サラリマンをトメージして書きました。